

## な～に谷っ戸ん田 4年目の5回目の記録

クロ付け、本代かき、苗並べ、籾播種

記録：高見元久

とき：平成22年5月8日(土) 9:30～19:20

ところ：な～に谷っ戸ん田、上の作業小屋前及びビニールハウス

天気：快晴(紫外線が強いとの予報あり。でも気持ち良い暑さでした。)

参加者：園主[テツさん]、石田、オズ、加藤(午前)、霧生、久保、佐々木母子[高橋さんゲスト](午前)、佐々木利江(午後から参加)、柴田、高田直子、高橋、高見、藤田(午前)、松尾(午前)、松本夫妻(午前)、百崎父子(午前)、吉田  
森、枝広、佐野[北部農政事務所](午前)、大塚夫妻(見学・午前)  
(作業21名、子ども2名、見学2名) 敬称略

【午前：クロ付け、代かき】

クロ付け

開始直後に地下水(井戸水)を給水。及び復元の小川からエンジンポンプによる揚水を行い、谷っ戸ん田の畦内側を鍬で少し掘って水路とし、全周囲に水を行き渡らせた。その後、含水した田んぼの泥を鍬または手で畦に塗って止水。厚手で嵩の高い畦を形成。「田んぼの泥をクロに使いすぎ」とテツさんから指摘される。

肥料散布

使用肥料 天然リン酸スパーグァノ、粒状 正味 20kg シバノ産業製  
くみあい配合肥料 8:10:11 中川水稲2号、正味 20kg 全農製  
赤米田・・・ ×1袋 + ×1袋 コシヒカリ田・・・ ×2袋 + ×3袋  
肩掛け容器に適量を入れ、まんべんなく田んぼに散布。子どもたちも活躍。

粗代かき

トラクター及び耕耘機使用。田んぼ内の水量を調整しながら本代かき。昼休みの休憩時に給水を停止。

【昼食】

ハンモックランチ

【午後：苗ならべ、種籾播種(4種類)、本代かき】

苗ならべ

ハウスの中の整理を行った後、5/5に籾を蒔いて積み重ねておいた育苗箱(コシヒカリ117箱)をハウス内に並べ、寒冷紗で被覆した。さらに日差しを和らげるため、並べた育苗箱の上部に寒冷紗を架けた。

種籾播種

事前に消毒していた4種類の種籾をゴザの上に薄く蒔き出して半乾燥。

ひもでまとめた状態の育苗箱を大型容器内の消毒液に短時間浸す。

育苗箱に下敷紙[ECOPAPY:日本甜菜製糖(株)]を敷き、播種機で育苗箱に播種。床土は、三菱農機製、ヤンマー製、クボタ製の3種(別紙詳細)を使用した。

播種後の育苗箱を上側のビニールハウス内に積み重ね。ヒカリ新世紀 23箱、モチ 40箱、ユメツクシ 109箱、コシヒカリ 50箱 の計222箱。

代かき

トラクター、耕耘機2台(うち1台の調子悪し)で代かき、トンボ及び角材曳きにより不陸調整を行った。

片付け 石田、吉田、柴田(田の字3兄弟)、久保、高橋、高見

作業道具、機械の洗浄。19:20終了。

差し入れ・・・午前休憩時、松本さん、大塚さんから菓子、午後の休憩時、テツさんから飲物。